



災害に備えて 準備は万全ですか？



自然は豊かな恵みをもたらしてくれますが、時として私たちに猛威を振るいます。台風や集中豪雨、地震など、私たちの住むこの日本は、自然災害が多い国です。

ひと昔前の災害と比べ、近年の災害は局地化、集中化しており、その状況は大きく変化しています。平成28年熊本地震や平成29年7月九州北部豪雨など甚大な被害をもたらした自然災害は、まさに晴天の霹靂^{へきれき}でした。人が自然と共に生きていくうえで、防災対策は、そもそも私たちの生活の一部と言えるのではないでしょうか。

対馬市では4月から新たに総務課内に「地域安全防災室」を設置し、職員3人体制で、自然災害への対策や自主防災組織の結成促進を図っていきます。

こちら『地域安全防災室』です



左から黒岩 係長、坂本 室長、小宮 係長

職員から ひとこと

気象警報が発表された場合は、解除されるまで24時間体制で災害警戒本部を設置し、情報収集、応急対策等を行います。台風による警報は事前に予測できますが、突発的な大雨警報などは事前に予測できないため、常に緊張感を持った職場です。

総務課 地域安全防災室 ☎0920(53)6111

地域安全防災室Q&A



Q) 対馬における近年の自然災害の状況は？



A) 過去5年間で最も大きな災害となったのが、平成27年9月1日未明に巖原町、美津島町地域を中心とした大雨（50年に一度の大雨）によるもので、床上浸水53棟、床下浸水18棟など、甚大な被害に見舞われました。

また、平成28年にも巖原町久和地区、峰町三根地区で大雨（50年に一度の大雨）が降っています。この時も床下浸水等の被害はありましたが、幸い、それ以降大きな災害は発生していません。



Q) 対馬の防災について今後さらに強化していくべきことは？



A) 自主防災組織の結成を促進し「自助・共助・公助」による協働体制の構築を図ります。

「自助」…防災の基本であり、自分の命は自分で守ることです。

「共助」…自分や家族だけでなく、隣近所を含む地域コミュニティで実際に助け合うことを言います。

「公助」…公的機関による救助です。

大規模な災害が発生した場合、道路が寸断されたり、市や消防署をはじめ防災関係機関自身も被災するなど、特に災害発生直後は「公助」のみの災害対策には限界があります。そのような状況下では、地域住民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」がとりわけ重要になります。

「共助」を担うのは日頃から地域住民の皆さんが地区単位で防災活動に取り組む自主防災組織であり、一部の地区では既に組織を結成して活動されています。

市では、組織の結成促進や育成を図るため、今年度から新たに補助金を準備し、支援を行っていきます。



Q) 地域安全防災室の業務を詳しく教えて！



A) 防災をはじめ主に6つの業務を行います。

○防災

気象警報が発表された場合は、災害警戒本部を設置し情報収集に努めます。さらに、災害発生の恐れがある場合は、災害対策本部に切り替え、国や県、防災関係機関と連携して対応にあたります。また、災害の発生に備えて、各種対応マニュアル等を整備します。

○交通安全

交通安全思想の普及・啓発を行い、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践による交通事故防止の徹底を図ります。

○防犯

長崎県警と協力して犯罪を未然に防ぐため防犯協会の運営や市内に設置している防犯灯の維持管理を行います。

○空家対策

適切な管理が行われていない空家等は、防災・衛生・景観など様々な面で市民生活に影響を及ぼす恐れがあることから、空家対策の総合的な体制づくりを行います。

○国民保護

万一、武力攻撃などがあつた場合に、国や県、関係機関と連携して、住民の避難や救護措置などを行います。

○自衛官募集

自衛隊長崎地方本部と協力し、自衛官の募集事務を行います。



巖原町白子地区の自主防災訓練の様子

「自助」からはじめよう！

2度の震災を経験した歌うママ防災士 柳原志保さんによる「家庭でできる防災」についての講演会が開かれました。

3月17日、対馬市交流センターで「もしも」に備える～家庭でできる防災～と題して講演会が開催されました。講師は宮城県出身の柳原志保さん。柳原さんは東日本大震災で自宅が半壊。2週間の避難生活を送り、1年後に妹夫婦が住む熊本県に移住しました。そこで防災士の資格を取得し、防災についての啓発活動を行っていましたが、移住から4年後、今度は熊本地震に遭遇。日頃の備えの成果で、被害を最小限に抑えることができた柳原さんの実体験に基づくお話は「なるほど」の連続でした。



完璧じゃなくて大丈夫 無理なく楽しく取り組める日常備蓄を!! 柳原さん流の防災術を一部紹介します



○**パーソナルカードを作っておこう**
住所・名前・生年月日・連絡先・血液型・家族の写真・アレルギーの有無や普段服用している薬の名前・公衆電話用の10円玉を入れたカードケースを1つ作っておき、家族が分かる場所に置いておきましょう。

○**笛とラジオ**

笛は救助を求める際に必要ですので、手を伸ばせる場所にいつも置いておくのがベスト。ラジオは正確な情報を得るために必要です。



○**完璧じゃなくていい、自分でできる食料備蓄を**

専用の非常食を買わなければいけないと思うかもしれませんが、日頃食べているものでも構いません。缶詰やカップ麺を特売日にまとめ買いするなど「続けられるやり方で」「楽しみながら備蓄する」ことが大切です。「賞味期限が近づいたら食べて、特売日に補充する」の繰り返しで大丈夫。ライフラインが止まってもお湯が沸かせるカセットコンロは一家に一台！



○**「好きな物」でストレス軽減**
非常時で心が弱っているとき、好きなお菓子を食べることで「心」がほっとします。お菓子やコーヒーなど「好きな物」を準備しておけば、もしものときも日常に戻った気持ちになります。子どもさんだったらお気に入りのおもちゃを準備しておくのもいいでしょう。



○**防災訓練には様々な立場の人に参加してもらおう**

障がい者や高齢者などの声を聞くことは、とても大事なことです。いろいろな立場の人に訓練に参加してもらいましょう。

○**自分に必要なものは普段から車にも**

避難所では皆が使うものが優先して配られるので、離乳食・アレルギー食・ミルク・オムツ・メガネ・コンタクトレンズ・生理用品などは不足しがち。そこで、例えば買い替えた後の古いメガネを車の中に入れておくという手があります。着替えやウェットティッシュなど腐らないものは車にも備蓄しておくことで安心です。非常時はガソリンも手に入りにくいので、半分になったら満タンにしておく習慣をつけておくといいですね。



○**知恵をしぼる**

スーパーのレジ袋は即席のオムツに、キッチンペーパーはマスクに、新聞紙はスリッパ、ツナ缶は即席ランプになります。



講演会でも紹介された新聞スリッパ。足下からの底冷えを防ぎます。

～あなたも自主防災リーダーに～ 長崎県防災推進員養成講座が開かれます

防災に関する知識や技術を身に付け、地域や職場の「防災力」向上に貢献しましょう

- と き 平成30年7月21日(土)・22日(日)・28日(土)の3日間
- と ころ 対馬市交流センター3階(第1～3会議室)
- 内 容 ・防災気象情報の利用方法・避難所運営ワークショップ・被害想定とハザードマップなど。(受講料は無料)
・最終日には、全講座修了後、防災士の資格取得試験が実施されます。(希望者のみ、受験料3,000円)
- 募集人員 約100人
- 申込期限 6月26日(火)

※受講を希望される方は地域安全防災室までご連絡ください。 ☎0920(53)6111

【防災士とは】地域の防災リーダーとなるために防災に関する知識と技能を習得し、様々な場面で防災力を高める活動をする人。特定非営利活動法人日本防災士機構が認証します。



防災士にインタビュー

○講座を受けたきっかけ

社会福祉協議会では、被災地・被災者に様々な支援を行います。特に、近年では、災害時のボランティア活動が期待される中で、ボランティアのコーディネートを行う「災害ボランティアセンター」の運営を社協が担うことが多く、そのノウハウや被災者支援の在り方、そして、地域の防災力向上のための知識を習得するために受講しました。

○講座を受けた感想を

講座では、災害に関する様々な知識が習得できます。災害の要因や天候に関すること、日頃からの備えや避難経路についてなど、防災を考えるきっかけになります。いつ、どこで発生するかわからない災害だからこそ、日頃からの備えがいかに重要かを学ぶことができ、意識も少し変わったのかなと思います。



防災士の資格を取得した
斉藤 貴紀さん
対馬市社会福祉協議会勤務
厳原町在住

○災害を経験したことで得た教訓があれば

もうすぐ3年が経とうとしていますが、平成27年9月に発生した瀬地区での大雨災害では、地区のほとんどが浸水被害に遭いました。当時、災害ボランティアセンターを立ち上げ、市内からボランティアを募り、支援にあたりましたが、人の力、そして繋がりとはすごいなと実感しました。

災害時だからこそ、支え合う、助け合う気持ち「共助」の重要性を再認識しました。防災は、地域づくり!!

○地域の防災力向上に必要なこと

自然災害を防ぐことはできませんが、災害被害を減らすこと(減災)は地域で取り組めることです。災害時に何よりも大切なことは、命を亡くさないことです。地域の人をしっかりと把握し(知り)、災害時に支援が必要な方の支援方法や避難経路を考えたり、地域の中で共有することが必要です。

まずは、人とつながり、孤立をなくすことが必要かもしれません。

対馬市では既に50人近い防災士が誕生し、地域の防災リーダーとして活躍されています。自分のため、地域のために講座を受講してみたいかでしょうか。

災害に強い地域をつくるには

災害時に、自分の身が守れないのに、他の誰かを助けることはできません。自分の命はまず自分で守ることが基本です。また、自分の身を守るのが難しい方でも、日頃から近所の人とあいさつを交わし、コミュニティに参加していれば、もしものときに自分や家族を守ることもつながります。

防災とは、私たちの日々の生活、自分たちの安全を守ることであり、隣近所で力を合わせて楽しみながら取り組んでいくことが、災害に強い地域づくりにつながります。

祝 白寿おめでとうございます

99歳を迎えられた方々に市から褒状とお祝い金が贈られました。これからも長生きしてください。



波多野 高枝さん(美津島町)
大正8年5月7日生まれ



阿比留 昌英さん(上対馬町)
大正8年5月8日生まれ

Sports Finder
スポーツファインダー

中学生のスポーツの祭典

5月12日・13日、峰町と豊玉町で「対馬市中学校体育大会（球技・武道の部）」が行われました。選手達は日頃の練習の成果を思う存分発揮し、県大会出場を目指しました。（ソフトテニス2日目は悪天候のため15日に延期）

主な結果は以下のとおりです。（敬称略 ※○数字は順位）

- ◎バレーボール男子……………①厳原中②東部中
- ◎バレーボール女子……………①西部中②仁田中③雞知中・厳原中
- ◎バスケットボール男子……①豊玉中②久田中
- ◎バスケットボール女子……①雞知中②厳原中
- ◎ソフトテニス団体男子……①厳原中②比田勝中③西部中・雞知中
- ◎ソフトテニス団体女子……①比田勝中②厳原中③雞知中・佐須中
- ◎ソフトテニス個人男子……①播磨拓海・奥山徹人（厳原中）
②栗屋陽向・早田恭佑（雞知中）
③木野田圭亮・新甫玲王（雞知中）
④河原直季・柵次雄太（豊玉中）
- ◎ソフトテニス個人女子……①橘 智華・日下部美玲（雞知中）
②庄司愛花・梅野純渚（比田勝中）
③高雄麻未・飯野智妃呂（豆酸中）
④糸瀬友里加・和田真奈（厳原中）
- ◎剣道団体男子……………①厳原中②雞知中③東部中
- ◎剣道個人男子……………①仁位康晟（厳原中）②扇 利仁（厳原中）
③齊藤政宗（厳原中）・築城慶強（厳原中）
- ◎剣道個人女子……………①財部華帆（東部中）②以南祐希（東部中）

※8チームに満たない団体種目の表彰は、2位までです。



吉報
まちの話題
特集
白寿
スポーツファインダー
各課からの
お知らせ
わがまち再発見
あなよん韓国語
年金コーナー
消費生活相談所より
情報BOX
無料法律相談
図書館情報
たすけあい通信
福岡事務所
レポート
学校給食
レシビ紹介
おくやみ
市長の動き
他
特別診療案内
他